

### 第1章 リニューアルの背景

#### 宮城県美術館の現状と課題

##### (1) 老朽化の状況

建物については各部で経年劣化が進んでおり、改修が必要です。設備に関しても更新推奨年数超過や劣化の進んでいるものが多く、更新が必要な状況にあります。

##### (2) 今日の課題

- 宮城県美術館を取り巻く状況の変化には、主に以下のようなものがあります。
- ・**展覧会のあり方**：事業規模と展示規模の大型化や、「ここにしかない」価値をアピールする上での美術館のコレクションと常設展示の重要性の向上
- ・**地域における位置づけ**：増加した関連施設との、連携や役割分担の考慮
- ・**アートシーン**：日々めまぐるしく変化する美術表現への対応と追及の継続
- ・**美術館での過ごし方**：リラックス、情報取得、コミュニケーションなど、美術を介した幅広い体験ができる場としての機能への期待の向上
- ・**公共施設のあり方**：あらゆる人にとって快適な社会を実現するための合理的配慮の必要性和、そのための設備や機器の技術的な進歩
- ・**美術館と子どもの関係**：子どもが美術に触れる場としての役割への期待の高まり
- ・**周辺地域をめぐる人の流れ**：公共交通機関による市内各所からの交通利便性の向上や、新幹線や自動車道路の充実による来館の利便性向上
- ・**東日本大震災と復興**：「心の復興」を支援する役割への期待

### 第2章 リニューアルの目的と方向性

#### 宮城県美術館の目指す姿

「基本構想」や建設時の「宮城県美術館建設基本構想」を踏まえ、宮城県美術館は以下のような美術館であることを目指します。

- 「記憶に残る」
- 「また訪れたいくなる」
- 「常に新しい発見のある」美術館

#### 施設改修の基本方針

美術館が現在もっている財産・資源を最大限に有効活用することを念頭に、以下に挙げる点について特に配慮します。

- ・**豊かな自然環境の保全**：広瀬川や青葉山など「杜の都仙台」の象徴の保全
- ・**既存建物の空間構成の本幹の尊重**：外観、中庭、エントランスホールなど、既存建物の空間構成の本幹となる部分を残しながらの改修
- ・**「建物の合理性の精神」の尊重**：耐久性のある外装材、省エネルギーに配慮した建物構成など、既存の建築のもつ合理性を活かした改修
- ・**合意形成の尊重**：本館の設計当初からなされている使用者及び利用者との合意形成の尊重
- ・**ライフサイクルコストの低減、環境負荷の軽減**：財政状況に配慮した設計
- ・**すべての人に愛される建築**：すべての人が快適に利用できることへの配慮

### 第3章 リニューアルの具体的内容

機能と改修内容：リニューアル後の美術館が備える機能と、そのために必要な改修内容を以下に示します。

#### (1) 子どもたちの豊かな体験を創出する美術館

- ・子どもたちが新しいものと出会い、イメージを広げ、表現できる場、子どもに関わるさまざまな人々が出会い、美術に親しむ場を目指す取組である「キッズ・プロジェクト」（仮称）の推進
- ・「キッズ・プロジェクト」の拠点となり、現在の造形遊戯室 → **多目的室で実施予定**
- ・**「キッズ・スタジオ」（仮称）の設置**
- ・地域の教育機関と連携し、子どもの美術教育の一助となるような取組の推進
- ・**学校や各種団体の来館にも対応できる環境の整備** → **多目的室で実施予定**
- ・小さな子ども連れでも安心して来館できるよう、**子ども、保護者、周囲の人々のすべてにとって快適な環境の整備**

#### (2) 人々が憩い、くつろぎ、集い、つながる美術館

- ・美術館で自由に時間を過ごし、滞在できる場である**情報・交流ラウンジ**（仮称）の整備 → **現図書室で実施予定**
- ・**多様な背景の人々が、美術館での時間を快適に過ごすことができるような配慮**
- ・ユニバーサルデザインへの合理的な配慮
- ・**レストランやカフェ、ミュージアムショップなどの充実** → **ソフト的対応を検討**
- ・**収蔵作品のデータなど各種情報の、さまざまなメディアによる発信と、アクティブな学習の場の提供** → **現図書室等で実施予定**
- ・宮城県美術館をハブとした県内の美術館の連携体制の整備と、それを基にした芸術文化の魅力発信、スタッフの資質向上、観光振興や地域活性化等への貢献

#### (3) 国内外の人々が魅了される美術館

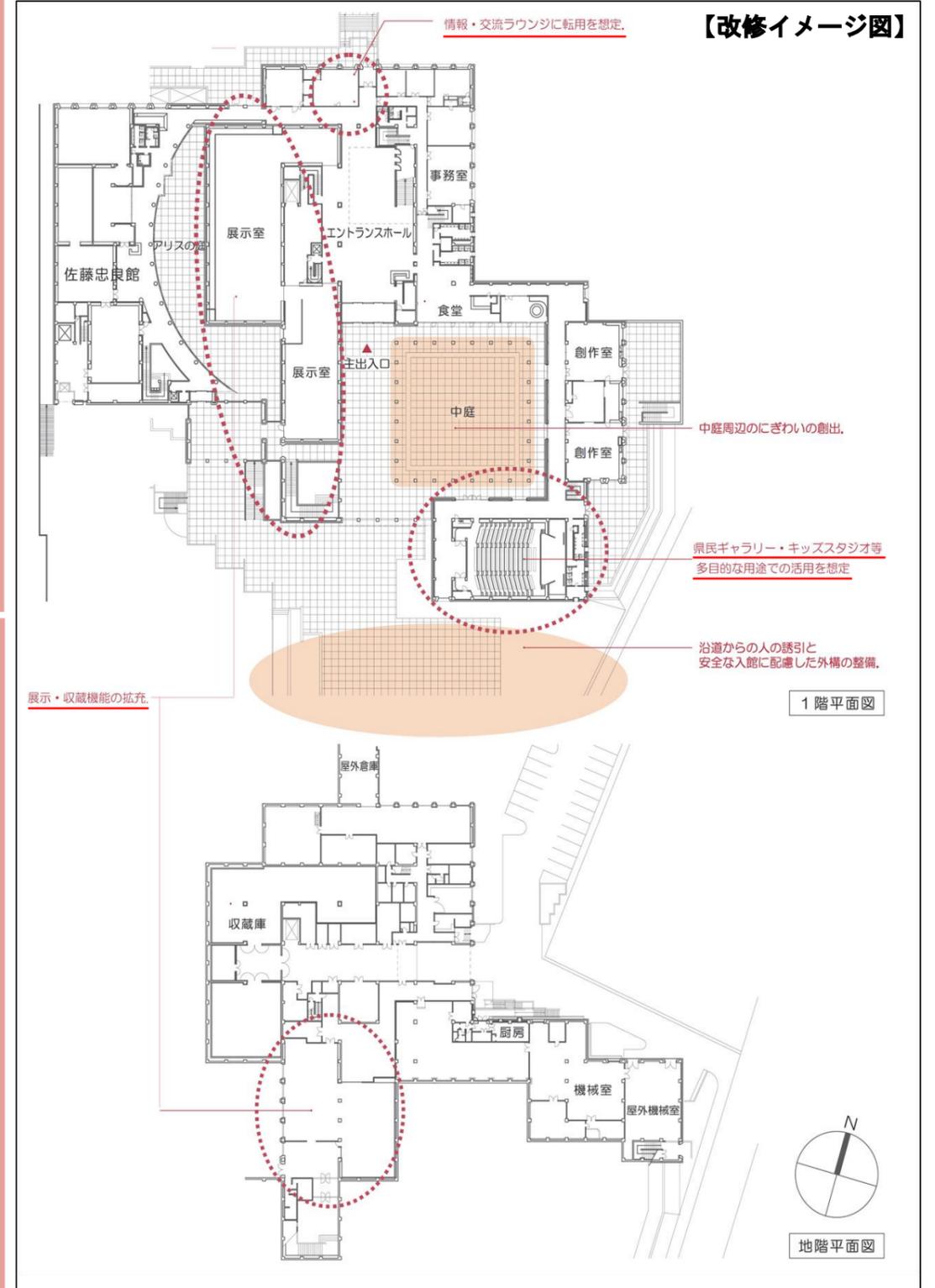
- ・**「見える収蔵庫」の設置** → **魅力ある展示の手法を検討**
- ・いつ来館しても**新鮮な鑑賞体験ができるような展示**
- ・作品を最も魅力的に鑑賞でき、かつ安全な展示環境の整備
- ・常設展の充実と大規模な特別展への活用のための**展示室拡充** → **部分実施予定**
- ・コレクションを質量ともに充実させるために必要な体制の構築と、学芸員のもつ知識や情報の継続的な更新
- ・収蔵品の安全管理と今後の収集活動のための**収蔵庫の拡充** → **部分実施予定**
- ・**幅広い誘客を視野に入れた施設・空間の活用可能性**の検討
- ・東日本大震災の被災体験に基づいた安全な美術館の整備
- ・各事業の質を高めるための調査研究と、その成果の発表
- ・国籍を問わず楽しめるよう、サイン等の多言語対応の充実

#### (4) ともに築きあう美術館

- ・**鑑賞、創作、美術表現の拡大に対応するために必要な空間、設備、スタッフの整備** → **多目的室で実施予定**
- ・県民の創作活動の促進に資する環境の整備
- ・県民の創作活動の発表、交流、鑑賞の場となる**県民ギャラリー**の整備 → **新県民会館と分担実施予定**
- ・美術に関する多様な催事の開催に対応できる**講堂の整備** → **多目的室で実施予定**
- ・**ボランティア等、県内地域における芸術・文化活動に主体的に関わりたい人が、活発に活動できるような環境の整備**
- ・環境に配慮した構造や機材の導入
- ・事業に関わる人々がより効率的に共働できるような環境及び体制の整備

#### 老朽化・旧態化箇所の更新

- 主な改修検討箇所は右記のとおりです。
  - 【建物】屋上防水、雨水配管、外壁、**内装、家具**など → **部分実施予定（管理部門内装、一部家具等除く）**
  - 【設備】更新推奨年数超過、劣化・陳腐化しているものなど
  - 【外構】床タイル、地盤沈下箇所、サイン、照明など



### 第4章 事業の実現に向けて

#### 概算事業費 事業スケジュール

約30億円と見込んでいます。 ※このスケジュールは、現時点での想定であり、財政事情や工事担当部門との調整等により、変更となる場合があります。

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業手法等の検討	基本設計・実施設計			改修工事	リニューアルオープン